

国際交流 Newsletter



編集・発行: 白石市国際交流協会事務局(白石市役所まちづくり推進課内) ☎ 0224-22-1327 ✉ koryu@city.shiroishi.miyagi.jp

◆白石市国際交流協会の活動を紹介◆

第3回 国際理解を深める講演会

～アメリカ合衆国イリノイ州シカゴ～

2024年8月21日(水) 開催@市役所大会議室

アメリカ合衆国シカゴの日本人学校で3年間勤務し、現在市内中学校で教鞭をとられている方を講師にお迎えし、イリノイ州シカゴの街や学校・日常生活などについて、そして、アメリカで暮らした後、自分が大きく変わった点は何かをお話いただきました。

それでは、講話の一部ですが紹介します。



●国際理解を深める講演会●

この講演会では、海外在住経験がある方を講師としてお招きし、その国の歴史や文化などを交えた体験談をお話いただいています。お互いの文化や考え方の違いを理解し、尊重する相互理解の姿勢を養うことを目的として開催しております。

イリノイ州ってどんなところ？

- ✓ アメリカ合衆国中西部に位置し、人口は国内5番目に多い。民族統制が最も多様化している州。
- ✓ 別名は「大平原の州」。郊外へ出ると果てしなく平坦な道が続く。
- ✓ 州都はスプリングフィールド。

シカゴってどんな街？

- ✓ ニューヨーク、ロサンゼルスに次ぐ人口の多い街
- ✓ シカゴにあるオヘア空港は、最も混雑する空港として知られている。離発着の数は約45秒に1機である。
- ✓ 函館と同緯度。

シカゴの気候

- ✓ 四季はあるが、秋が短い。
- ✓ ミシガン湖から吹きつける強風の影響を受け、夏は涼しく冬は寒い。ニックネームは「風の街」。

街の魅力

- ✓ 街全体が建築博物館と言われるほど、デザインが美しく、カッコよく、ユニークな建物が多い。
- ✓ 超高層ビル発祥の地。
- ✓ ゴミひとつ落ちていないきれいな街。

食生活

- ✓ 多様な文化が入っているため、イタリアン、メキシカン、ベトナム、中華など世界の国のレストランがある。
- ✓ スーパーが充実している。(現地のスーパー、日本食スーパー、韓国のスーパーがある)

シカゴ日本人学校

- ✓ 日本人学校の教育は日本の教育課程に沿って行われる。また、現地の特色を生かした行事や授業があることも特徴。
- ✓ 日本の学校にはない、トルネード、不審者対応、厳冬期対応、スクールバスの避難訓練がある。



アメリカで暮らしてみても...

《テレビや映画では知ることのできない本物のアメリカの一部を体験できた3年間だった》《いろいろな考え方・ものの見方を受け止められるようになった》《多民族国家であるアメリカで、たくさんの人種の方との関わりや職場で全国、全世界から集まった先生方や子どもたちとの関わりを通して、多様な考え方や生き方を理解し合える大切さを学んだ》《日本の文化・習慣を再確認できた。例えば、営業時間、レジ打ち、引っ越しでの荷物の搬出などでは日本人がいかに丁寧なのか改めて確認できた》

《コロナ禍では、アジア人を見る目が強くなった。自分が何人^{なにじん}であるか意識した時期であった》《一人の人間として接するということの大切さを改めて確認できた》



2024 年度オーストラリア友好親善訪問団報告会



2024 年 8 月 21 日（水）開催@市役所大会議室

- 派遣期間：2024 年 7 月 29 日（月）～8 月 7 日（水）の 10 日間
- 内 容：ホームステイ 5 泊、学校体験 2 日間
- 訪問団員：市内中学 2 年生 10 名、引率 2 名

今年度のオーストラリア友好親善訪問団の報告会は、解団式の中でいき、派遣生徒たちは参加者を前に 1 人 2 分の持ち時間で、学校での全体発表、グループ発表、授業体験、ホームステイの様子、そして、カウラ日本兵捕虜集団脱走事件慰霊式典参加について発表しました。

生徒は、オーストラリアのカウラ市で研修を行ってきました。カウラはニュー・サウス・ウェールズ州にあり、シドニーから西に約 320 km に位置し、車で約 5 時間、首都キャンベラからは約 2 時間のところにあります。派遣生は聖ラファエル・カトリック・スクールに通う生徒宅にホームステイしながら同校に通い、授業体験と発表を行いました。



学校での全体発表について、白石中学校の有田梨沙子さんは、「聖ラファエル校の生徒や先生の前でダンスを披露しましたが、その日は登校後すぐの発表で練習する時間もなくて、みんな緊張していた。でも、みなさん曲に合わせて手拍子してくれて楽しんでいた。仲間のみなもだんだん緊張がなくなってきて、楽しく踊るように見えた。」と話してくれました。



▲2024 年度オーストラリア友好親善訪問団



▲「行ってきまーす！」@羽田空港

グループ活動で、折り紙チームの白石中学校の本郷日香莉さんは、「折り紙に参加してくれた生徒のみなさんがとても優しく、楽しそうに参加してくれてすごく安心した。一番人気は新聞紙で作る兜でした。」こま・けん玉チームの東中学校の八木颯介さんは、「やり方の説明は難しかったけれど、聖ラファエル校のみなさんは、僕たちの単語だけの説明やジェスチャーで理解しようとしてくれてとてもうれしかった。」



書道チームの東中学校の阿部ななせさんは、「書道の活動を通して日本の文化を楽しんでもらいながら、オーストラリアの人の優しさをとても感じる事ができました。書道は準備や片付けで時間がかかってしまうけど、準備していると“大丈夫よ”と言って待ってくれたり、片付けも自主的に手伝ってくれたりした。また、チーム内でも絆が深まった。」と報告してくれました。



学校体験について、東中学校の島田亜子さんは、「授業を受けているときの私に対する接し方が、初対面なのにとってもフレンドリーで驚いた。最初は戸惑ったけどいつの間にか溶け込んでいた自分がいた。」



白石中学校の我妻奏心さんは、「自分の学校と比べると、オーストラリアの人たちの方が男女関係なく協力し感謝を伝えていて感じた。先生からの質問では、分からなくても自分の考えを伝えたり、先生に言われなくても周りの人と意見を交換したりしていた。」



ホームステイについて、東中学校の菅原凜希さんは、「初日は緊張と不安でいっぱいだったけど、ホストファミリーに温かく迎え入れてもらったので安心できた。私のホストシスターは音楽が好きでお互い好きな曲の話で盛り上がった。花火をしたり鬼ごっこをしたりした。ホストファミリーと過ごす最後の日には一生懸命に英語で感謝を伝えると、ホストマザーが涙を流していたのを見て、「通じたんだ！」と思ううれしかった。」



白石中学校の二瓶昂成さんは、衣食住の日本との違いについて話しました。「ホストブラザーは冬なのにいつも半袖ということに気づき、理由は1日ずっとスポーツをしていたから。主食はパンかチップス。ホームステイしたお家は玄関が車庫にあり、平屋だったけどとても広かった。行かないと分からないことを学ぶことができ、異なった文化には自分がそれに合わせて学ぶということが大切だと感じた。10月にはカウラの生徒を迎えるので、少しでも多くの日本文化を学んでもらえるようにしたい。」

福岡中学校の高野快晴さんからは、カウラ日本兵集団脱走事件の慰霊式典とランタンパレードについて、「式典に参加して私が知ったことは、80年前にカウラの地で多くの日本兵が亡くなったこと。そして、日本人と外国人の戦陣訓の違いにすごく驚いた。他にも、カウラの人たちが、亡くなった日本兵のために墓地を造り管理しているということ。敵だった日本兵に対しオーストラリア人の優しさをすごく感じた。ランタンパレードは一人一つずつランタンを持って捕虜収容所跡地まで歩いた。ランタンの数は亡くなった人たちの数だと知った時は、こんなにたくさんの人が戦争で亡くなったと思ってとても悲しくなった。このことをみんなに知ってもらいたいとも思った。」



白石中学校の高橋理人さんからは、首都キャンベラ訪問について報告してもらいました。「記憶に残っている訪問場所は、①戦争記念館。そこでの展示で、日本兵が敵兵を斬首しようとしている写真に一番衝撃を受けた。そして、それが日本兵にとって名誉だったことを知り、戦争は人を変えてしまうと感じた。②国会議事堂。興味深かったのは、上下両院の議場が赤（上院）と緑（下院）の2つあり、赤では野次がすごく飛び交い、緑では野次が飛ばされたときは棒で叩けるように、中央に棒が置いてあった。議会開会中は傍聴席で様子を見ることができるので、見たいと思った。③日本大使館を訪問。ここでは大使館・領事館の役割の説明をうけた。また、日豪の関係を築いていくために、学校を訪問したり文化交流をしたりしていることを知った。」



第17回鬼小十郎まつり

『外国人向け案内デスク』を設置

2024年10月5日（土）開催



白石市の秋の一大イベントである「第17回鬼小十郎まつり」が開催され、当協会では、外国人の来場者を中心に対応する案内デスクを設置し、計5名の会員とボランティアが参加しました。協会ブースでは、英訳したプログラムの配布、会場内やまつりの内容説明などを行いました。

また、昨年に続き、協会の案内デスクには市内小中学生のボランティアチームが加わり、元気いっぱいの活動となりました。小中学生にとっては外国人と話せる絶好の機会だったはず。ぜひとも、今後も継続して、このような機会を利用して習った英語を活用して欲しいと思います。



▲今年は、仙台城跡を拠点にして活動している「奥州・仙台おもてなし集団 伊達武将隊」が出陣し、まつりを盛り上げてくれました！（山田市長と記念撮影）

／ 私たちが案内しました！ ／



▲参加した会員・ボランティア@案内デスク▲



▲オーストラリアからのお客様—聖ラファエル校の生徒のみなさん

●鬼小十郎まつり●

このおまつりのハイライトは、片倉軍対真田軍決戦『大坂夏の陣～道明寺の戦い～』の再現です。総勢およそ120名の武者たちが繰り広げる鬼小十郎まつりのメインイベントです。片倉軍（黒甲冑）対真田軍（赤甲冑）の決戦には、多くの外国人が迫力ある武者たちの戦いぶりに注目していました。



★見どころ満載の、メインイベント前のパフォーマンス★

上左：榊流大町神楽

上右：白石市消防団伝統階子乗り

下左：居合披露

下右：大鷹沢子ども太鼓の会

★ホワイトストーンジャーナル - 国際交流 Newsletter Vol.191★

★LINE 公式アカウント



登録していただくと自動的に協会からのお知らせが届くほか、協会のホームページに簡単にアクセスできます。ぜひお友だち登録してくださいね!(^^)!



協会ホームページとニュースレター



公式 LINE